

2024年6月10日  
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平  
担当ワーキンググループ主査 錦澤 滋雄

Bangladesh国南部チョットグラム地域給水事業  
(協力準備調査(有償))  
スコーピング案に対する助言

**助言案検討の経緯**

ワーキンググループ会合

- ・ 日時：2024年5月24日(金) 14:00～17:46
- ・ 場所：JICA 本部（2階227会議室）及びオンライン
- ・ ワーキンググループ委員：谷本委員、錦澤委員、二宮委員、長谷川委員
- ・ 議題： Bangladesh国南部チョットグラム地域給水事業（協力準備調査（有償））に係るスコーピング案についての助言案作成
- ・ 配付資料：
  - 1) 【事前配布資料】 Bangladesh国南部チョットグラム地域給水事業（協力準備調査（有償））SC案
  - 2) 回答表
- ・ 適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2022年1月）

全体会合（第157回委員会）

- ・ 日時：2024年6月10日(月) 14:00～15:07
- ・ 場所：JICA 本部（2階202会議室）及びオンライン

上記の会合にて助言を確定した。

## **助言**

### **全体事項**

1. 近傍のカルナフリ、サング両河川でなく、マタムフリ川を当該水資源開発計画の水源とした根拠を、ステークホルダー協議/フォーカスグループディスカッション等で説明するとともに DFR に記載すること。
2. 貯水池の浚渫土砂およびサンドトラップで除去された土砂を管理する土捨場について、土砂の受入想定量、受入可能容量、2次土捨場への移動、土砂の再利用の方針・計画を明らかにし、土砂運搬による周辺環境への影響を考慮するとともに、暴風雨や洪水等により土砂が河川に流出しないよう十分な対策・管理計画を立てた上で、それらを DFR に記載すること。

### **代替案検討**

3. 取水地点の推奨案（案4）への塩水遡上の可能性について、気候変動の影響等も考慮し、将来的な塩水遡上のリスクを想定して DFR に記載すること。
4. 代替案検討における絞り込みのための最重要評価項目の妥当性及び総合評価での推奨案の選定経緯について、ステークホルダー協議/フォーカスグループディスカッション等で説明するとともに DFR に記載すること。

### **スコーピングマトリクス**

5. 取水施設の整備に伴い計画されているマタムフリ川の護岸工事によって、陸域と河川が分断されることによる生物多様性への影響を慎重に評価し、適切な緩和策を検討して DFR に記載すること。

### **環境配慮**

6. ファシアカリ野生生物保護区のゾーニングの詳細及び自然生態系の状況を確認すること。その上で、周辺を工事車両が往来することから、野生生物と車両の衝突の可能性について調査し、工事車両の速度制限や必要に応じて柵を設けるなど適切な対策を検討し DFR に記載すること。

### **社会配慮**

7. バングラデシュではジェンダーに関する基本的な法規がある一方、女性が世帯主である世帯に貧困世帯が多い現状がある。その背景と本事業による地域経済状況の変化がそれらの世帯に及ぼす影響について調査し、必要に応じ具体的な緩和策を検討し DFR に記載すること。

### **その他**

8. 生活用水の整備を行う本事業では、貧困層（特に、高齢者や少数民族）のために集落ごとあるいは数軒ごとのスタンドパイプ（共同水栓）の設置を調査項目に加え、その結果

を DFR に記載すること。

9. ステークホルダー協議/フォーカスグループディスカッション等において、予測・評価の考え方や手法に関し、少なくともどのように影響を予測し何を基準に評価するのかという方針について定性的に説明し DFR に記載すること。

以 上